

# 平成 31/令和元年度事業報告

(平成 31 年 4 月 1 日から 令和 2 年 3 月 31 日まで)

## 1. 会議の開催

理事会	5 回 (決議の省略の方法による臨時理事会招集 2 回)
評議員会	2 回 (決議の省略の方法による臨時評議員会招集 1 回)
企画運営委員会	3 回
研究助成金選考委員会	1 回

## 2. 平成 31/令和元年度各事業の状況報告

### (1) 肝炎・肝臓に関する専門研究の企画、統括、解析、公表

- ① 専門研究(論文発表: 研究主幹 SMF アクバル 先生)  
今年度は実施しなかった。
- ② 「財団ニュース」の発信  
紙媒体「財団だより」からホームページ「財団ニュース」に新設発行。  
財団事業・予定等を掲載。

### (2) 医療従事者を対象とする肝炎・肝臓の予防・治療に関する研修会の開催

- 第 1 回: テーマ 「HCV 治療による SVR 後の発癌に関する話題」(座長 脇田 隆字 先生)  
日時 令和元年 7 月 21 日(土) 15:00~18:00  
場所 国立感染症研究所戸山庁舎共用第一会議室 (30 名参加)
- 第 2 回: テーマ 「E 型肝炎研究の最新情報と展望」(座長 岡本 宏明 先生)  
日時 令和 2 年 2 月 8 日(土) 13:00~17:00  
場所 港区 クロスコープ青山セミナールーム (23 名参加)

### (3) 一般市民及び企業を対象とする肝炎・肝臓の予防・治療に関する講演会の開催

- 1) 第 24 回肝臓病医療講演会: 「危ない脂肪肝の見分け方と肝臓の最新治療」  
日時 令和元年 9 月 29 日(日)  
場所 渋谷区 東京ウィメンズプラザ B1F ホール (55 名参加)  
演者 泉 並木 先生
- 2) 小規模な相談会を含めた講演会: 「肝炎ウイルスへの感染はどのような時に起きるのか  
—患者さん視線で考える—」  
日時 令和元年 10 月 27 日(日)  
場所 宮川庚子記念研究財団 会議室 (12 名参加)  
演者 四柳 宏 先生

### (4) 肝炎・肝臓研究者を対象とする研究助成金の交付

研究助成金選考委員会において研究助成者 2 名を決定した(応募 6 件)。  
關場 一磨(せきば かずま) 先生 東京大学医学部附属病院 消化器内科  
テーマ: B 型肝炎ウイルス X 蛋白による宿主蛋白 Smc5/6 の分解に着目した宿主 DNA  
損傷蓄積機構の解明と肝発癌予防への応用

三好 正人(みよし まさと) 先生 東京医科歯科大学医学部附属病院 消化器内科  
テーマ: ヒト iPS 細胞由来肝オルガノイドの構築とウイルス性肝炎による肝線維化・発癌  
機構の解析

### (5) 医学功労者の顕彰

「B 型肝炎の高感度検出法 (RPHA) 研究のパイオニア」  
日本赤十字社中央血液研究所名誉所長 十字 猛夫 先生

以上